

新型コロナによる家計への影響を把握する「財産目録ノート」の作り方

新型コロナウイルスの影響を受けて、収入や支出に大きな変動が生まれているご家庭は少なくないと思います。家計を守るためになにをどれくらい節約したらいいのか、もしくは副業等を考えなければならないのか等、不安に感じている人も多いのではないのでしょうか。

公認会計士の林總さんは、こうした想定外の大きな収支変動が生じたときは、純資産（預貯金等の資産からローン等の負債を差し引いた残額）の増減を追っていくことが不安を解消するうえで最も大切だと話します。

「なんとなく『節約しなければ』という焦りだけで節約をしていると、ひたすらがまんすることになり、不安やストレスがつきまといます。純資産がどれだけ増減しているのかを『見える化』すると、漠然とした不安がなくなり、ストレスも軽減されるでしょう」（林さん）



そこで林さんがおすすめするのが、純資産の増減を把握するための「財産目録ノート」の作成です。ノートを準備して、次の手順で作成してみましょう。

① プラスの財産を一覧にする

プラスの財産とは、手持ちの現金、預金、財形貯蓄、株式、不動産等をさします。各項目の金額を一覧表にまとめて、合計額を算出しましょう。

- ・現金...現金を集めて合計額を記入します。
- ・預金額...通帳をすべて集めて記帳し、口座ごとの残高を記入します。
- ・財形貯蓄額...銀行から送られてくる残高通知書で調べましょう。
- ・株価...手持ちの株をすべてリストアップし、証券会社からの報告書やインターネットで時価を確認して株価を調べましょう。
- ・不動産...土地、建物、マンション等を所有している場合は売却可能額を調べます。立地、坪数、築年数が同程度の不動産の売り出し価格を調べて算出しましょう。

② マイナスの財産を一覧にする

住宅、車、教育費等のローンを返済中の場合は、返済予定表を確認してローン残高を一覧表にまとめ、合計額を算出します。

③ 純資産を算出する

①の合計額から②の合計額を引いた残額が純資産です。

この財産目録ノートを毎月末につけることで、1カ月で純資産がいくら増減しているのかが把握でき、お金の流れが「見える化」されます。今後の見通しが立てにくいなかで家計をコントロールする指針として、ぜひ活用してください。

監修者 林 總(はやし・あつむ)さん

公認会計士、明治大学会計専門職大学院教授(管理会計)。外資系会計事務所、監査法人を経て開業。国内外の企業に対して、ビジネスコンサルティング、ITを活用した管理会計(主として原価計算)システムの設計導入コンサルティング、講演活動等をおこなっている。『餃子屋と高級フレンチでは、どちらが儲かるか』(ダイヤモンド社)、『ドラッカーと会計の話をしよう』(中経出版)、『正しい家計管理』『正しい家計管理・長期プラン編 老後のお金』(WAVE出版)ほか著書多数。

<http://www.atsumu.com/>